

12月のコラム ～ 一年の終わりに ～

冬本番はまだまだと思っていたのに、強烈な寒波が襲ってきました。暖房器具も着るものもフル装備、最高レベルの寒さ対策になってしまいました。

さて、今年も残りわずかになってまいりました。この一年を振り返って、皆様にとってはどんな年でしたでしょうか。

私は、もちろん今年も楽しく元気に仕事をさせていただき、感謝の一年で締めくくれそうですが、とても悲しい出来事もありました。同年代の友人が三人も亡くなったのです。一人は、中学、高校と一緒に40年以上の付き合いです。私は、生まれも育ちもずっと神戸なので、今でもその頃の友人達と良く集まります。飲み会でまず抜けることがなかった人物なので、穴が空いた感じが抜けません。

ほかの二人は、新卒で入った会社の合唱団と一緒に歌っていた仲間です。今は、会社のサークル活動はほとんどなくなりましたが、当時は結構盛んで、アフターファイブも会社の施設でスポーツや習い事を良くしていたものです。所属していた合唱団でも毎週の練習に加え、合宿までして、演奏会をしたり、コンクールに出たりと結構真剣に取り組んでいました。会社は、4年ほどで退職しましたが、合唱団のメンバーとは、年賀状での近況報告が主となっているものの、先輩後輩に関係なく何十年も繋がっています。たまたま重なってしまったのですが、ふたりとも年は私と一つ違い。

結婚、仕事、家族…人生は三人三様でしたが、見習いたいと思う素敵な生き方をされていました。だから、きっともう十分に自分の使命を果たし、生ききったから天に召されたと思うのですが、やはり寂しいです。

人生には出会いと別れがつきものです。振り返るとこれまでなんと多くの方の影響を受け、支えてもらい、喜び悲しみを共にしてきたことか……。あっと言う間の1年のようですが、今年も24時間×365日生きてきたのです。本当に色々なことがあり、皆さんに助けていただき、色々なことを学ばせていただきました。人という漢字がヒトとヒトが支え合っていることを表しているとか、人間は人と人との間で生きていくとか本当によくできていると思います。

「かけた情けは水に流せ。受けた恩は石に刻め。」は、私が大事にしている人生訓です。この言葉を忘れず、みなさまとの関わりの中で「生ききった！」と自分が納得して死ねるように、これからも私らしく一所懸命に明るく生きて行きたいと思えます。

今後ともどうぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

2017年12月 水田かほる